国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和７年８月２６日
網走開発建設部

「第47回 技術者交流フォーラム事業 in網走 」を開催

～冬期の気象災害、技術者の連携で挑む課題と対策～

網走開発建設部では、寒地土木研究所、日本技術士会北海道本部との共催でオホーツク地域の冬季気象とこれによる災害を未然に防ぐため、下記のとおり「技術者交流フォーラム事業in網走」を開催します。

本フォーラムでは、冬期の気象災害の課題や取組事例を紹介し、産学官の技術者の交流及び連携を図ります。

記

１．開催日：令和７年１０月２日（木）１３：３０～１６：５０

２．場　所：オホーツク・文化交流センター（網走市北２条西３丁目）エコーホール

３．主な開催内容（詳細は別紙をご覧ください）
基調講演「オホーツク地域の冬期気象災害史から考えるこれからの防災・減災」
北見工業大学　工学部社会環境系　准教授　白川　龍生　氏

４．参加費：無料

５．申込期限：令和７年９月２６日（金）まで

６．申込方法：下記の寒地土木研究所ホームページの「寒地土木研究所　イベント情報」からお願いいたします。

https://chouseikan.ceri.go.jp/web/event/

※取材の方は当日、直接会場にお越しいただくことも可能です

寒地土木研究所 HP
（イベント情報）

【問合せ先】国土交通省　北海道開発局　網走開発建設部　　電話0152-44-6171
技術管理課長　　三好　達夫（内線391）
技術管理課長補佐　　杉尾　幸宣（内線520）
網走開発建設部ＨＰ　https://www.hkd.mlit.go.jp/ab/

国土交通省 北海道開発局
網走開発建設部

CERI COLD REGION
国立研究開発法人 土木研究所
寒地土木研究所

公益社団法人 日本技術士会 北海道本部
The Institution of Professional Engineers, Japan Hokkaido RHQ

第４７回 技術者交流フォーラム事業 in網走

オホーツク地域における冬期の気象と災害

2025/10/2（木）13:30～

会場 オホーツク・文化交流センター
（エコーセンター2000 エコーホール）
網走市北2条西3丁目

暴風雪災害時の避難所として閉館時の「道の駅」が活用された［道の駅メルヘンの丘めまんべつ］
写真：北海道開発局

➤開会挨拶（13：30～）　網走開発建設部長 **佐々木 悟**

➤基調講演
『オホーツク地域の冬期気象災害史から考えるこれからの防災・減災』

北見工業大学 工学部社会環境系 准教授
白川龍生 氏

➤技術者の交流（展示・休憩）

➤一般講演
『大雪や暴風雪時における道路管理者の取組』

網走開発建設部 次長 **鈴木武彦**

『降雨融雪出水時における北見市広郷浄水場の対応 』

公益社団法人 日本技術士会北海道本部 オホーツク技術士委員会
（北見市上下水道局 次長） **荒木 真**

『暴風雪災害の防止・軽減に向けた寒地土木研究所の取組』

寒地土木研究所 雪氷チーム 研究員 **武知洋太**

➤閉会挨拶（16：45～）　寒地土木研究所 技術開発調整監 **木下 豪**

参加無料

▽お申込み▽

寒地土木研究所HP
https://chouseikan.ceri.go.jp/web/event/

寒地土木研究所ＨＰ
をご覧ください。

（公社）土木学会 継続教育(CPD)プログラム

認定番号：JSCE25-0828
認定単位：２．５ 単位

（一社）全国土木施工管理技士会連合継続学習制度（CPDS）プログラム

プログラム登録番号：998088
形態コード101-1分野 3unit
3unit

主 催： 国土交通省北海道開発局網走開発建設部、国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所、公益社団法人日本技術士会北海道本部オホーツク技術士委員会
後 援： 北見工業大学地域と歩む防災研究センター、網走市、一般社団法人網走建設業協会、網走測量設計協会、公益社団法人日本雪氷学会北海道支部

お問い合わせ先：寒地土木研究所 寒地技術推進室（平日9：00～16：00 直通TEL 011-590-4046）

オホーツク地域では、冬になると吹雪による多重事故、立ち往生、さらには道路の通行止め、公共交通機関の運休が発生する状況にあります。本フォーラムでは、オホーツク地域の冬期気象とこれによる災害を未然に防ぐため、現状と課題や取組事例の紹介、情報交換を通じて、産官学の技術者交流及び連携を図ります。

《基調講演》 ➤ 13:35 ～14:35

『オホーツク地域の冬期気象災害史から考えるこれからの防災・減災』

北見工業大学　工学部社会環境系　准教授

白 川 龍 生 氏

オホーツク地域では、これまでに大雪・暴風雪・厳冬期の停電など、各種の冬期気象災害が発生してきました。本講演では、記録に残る過去の災害を冬期気象災害史として振り返り、気象や地域の特性を解説します。そのうえで、気候変動や人口減少など社会構造の変化を踏まえ、今後求められる防災・減災対策、行政施策の課題と展望を考察します。地域防災力の向上に向けた理解の一助となることを目指します。

《技術者交流（展示・休憩）》 ➤ 14:35～15:05

技術者交流の場として展示コーナーを設けますので、どうぞご覧ください。（講演会場の隣で開催しております）

【出展者一覧】

北見工業大学　地域と歩む防災研究センター、網走開発建設部、寒地土木研究所

《一般講演》 ➤ 15:05～16:45

➤ 15:05 ～15:35

『大雪や暴風雪時における道路管理者の取組』

網走開発建設部　次長　　鈴木　武彦

大雪や暴風雪等に関する通行止めや除雪作業及び防災情報の提供等、近年の道路管理者の取組を紹介します。

➤ 15:35～16:05

『降雨融雪出水時における北見市広郷浄水場の対応 』

公益社団法人　日本技術士会　北海道本部　オホーツク技術士委員会

（北見市上下水道局　次長）　　荒木　真

平成30年3月9日、降雨と融雪によって常呂川が増水し、氷塊の流下によって、北見市広郷浄水場の取水口や沈砂池が被害を受けました。当時の状況や対応について報告します。

➤ 16:15 ～16:45

『暴風雪災害の防止・軽減に向けた寒地土木研究所の取組』

寒地土木研究所　雪氷チーム　研究員　　武知　洋太

寒地土木研究所では、暴風雪時の交通行動や道路管理の判断支援に向け、吹雪視程推定技術や暴風雪・大雪災害の履歴情報の活用方策に関する研究に取り組んでいます。これらの成果を紹介します。

参加者の皆様へお願い

申し込み時のQRコード画像をスマートフォンに保存もしくは印刷してご持参願います。

ご来場のみなさまには下記項目にご協力をお願い申し上げます。

- **国や自治体の方針等により、急遽開催の中止や延期となる場合があります。**
- **事前申込をされずに来場された方は、受付にて申込み用紙に必要事項を記載のうえ参加してください。**